

## 【総会議事録】

開催日時：2010年3月26日（金）16時00分～17時30分

開催場所：広島大学 法経B257教室

出席者の確認の結果、事前投票総数（会場参加者との重複は除く）は352名、会場参加は157名であった。（出席者のうちで事前投票をしたものは事前投票の方を無効とした。）有効出席者総数は509名で、定足数（正会員総数1697名の5分の1＝339名）を満たしていることを確認した。議長は規約に則り國枝理事長が務めた。次に署名人として山下卓也氏、桜井 隆氏が選出された。

2009年度日本天文学会各賞授与式：

相馬天体発見賞選考委員長の司会のもと、天体発見賞と天文功労賞が以下の方々に授与された。

〔天体発見賞〕

板垣公一氏（15件）、野口敏秀氏（1件）、西山浩一氏・椋島富士夫氏（5件）、西村栄男氏（1件）

〔天文功労賞〕

（長期的な業績）板橋伸太郎氏（欠席）

（短期的な業績）SonotaCoネットワーク（代表：植原 敏氏）、三品利郎氏、佐藤英貴氏

受賞者を代表して西山浩一氏から挨拶があった。

次に、林 忠四郎賞、および欧文研究報告論文賞が以下の方々に授与された。

林 忠四郎賞 常田佐久氏

欧文研究報告論文賞 藤本龍一氏（他共著者9名）

（なお、研究奨励賞の内山泰伸氏、前田啓一氏、山崎 了氏への授与式は総会前日の3月25日に行われた。また天体発見功労賞の受賞者は今回なかった。）

議事の経過並びに結果：

1. 竹田庶務理事が資料に基づき、2009年度事業報告書の説明を行った。（第1号議案）
2. 田代会計理事が資料に基づき、2009年度決算報告書の説明を行った。（第2号議案）
3. 唐牛監事により、この事業報告・決算報告の両報告書が2010年1月5日に行なわれた監査で、正当と認められた旨の報告がされた。
4. 國枝理事長が資料に基づき、来年の次期理事長選出に向けて本年から実施する予定の、理事長公選制に関する細則案の説明を行った。（第3号議案）
5. 第1号議案、第2号議案、第3号議案、はいずれも賛成多数で承認された。

各種報告：

1. 國枝理事長より資料に基づき、昨年11月の事業仕分けに対する危機感から「事業仕分けと科学研究の将来について」と題する緊急声明文を日本天文学会から出したことが報告された。
2. 竹田理事より資料に基づき、本年度会員名簿の作成方針についての報告があった。会員種別・番号と氏名と所属（または職種）は必須掲載で他の四項目は掲載・非掲載が選択可能。
3. 國枝理事長より「今後は天文学会として広報活動の強化と国際化への対応について力を入れて取り組みたい」との将来方針に関する発言があった。
4. 中川貴雄氏より、宇宙科学研究のより一層の推進を目指し、宇宙航空研究開発機構の「宇宙科学研究本部」の名称が4月から「宇宙科学研究所」に変更されること、また相模原市の政令都市移行に伴い住所が若干変わることを、の報告があった。
5. 海部宣男氏より日本学術会議の活動報告（全体的な展望と提言、天文学・宇宙物理学の展望と長期計画、天文関係分科会関連の話題、など）があった。
6. 引き続き佐藤勝彦氏より、学術会議長期計画小委員会による報告書「天文学・宇宙物理学の展望と長期計画」が完成したことが報告された。この文書はすでに[http://www.a.phys.nagoya-u.ac.jp/scj\\_\\_astro/](http://www.a.phys.nagoya-u.ac.jp/scj__astro/)で公開されている。
7. 渡部潤一氏より、大きな成功を収めた昨年の世界天文年2009の活動の総括報告がスライドを用いてなされた。

2009年4月13日

議 長 國枝秀世

署名人 山下卓也

署名人 桜井隆